

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表: 令和5年2月10日

事業所名: えすぺらんさ

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|--|--|----|---------------|-----|--|--|
| 環境・ 体制整備 | ① 利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切であるか | ○ | | | | |
| | ② 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | 基準以上の職員を配置している | |
| | ③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | ○ | | | | |
| 業務改善 | ④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか | ○ | | | 日々の振り返りをスタッフ間で行っている。 | |
| | ⑤ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者の意向等を把握し業務改善につなげているか | ○ | | | | |
| | ⑥ この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | | |
| | ⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか | | | ○ | 実施していない | 実施していない 外部からも意見を頂けるような環境を整えていく |
| | ⑧ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | | |
| 関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携 | ⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成しているか | ○ | | | | |
| | ⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | | | ○ | 使用していない | 必要に応じて統一したアセスメントツールを活用していく |
| | ⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | チーム間で共有している | |
| | ⑫ プログラムが固定化しないように工夫しているか | ○ | | | 意識して組み立てている 目標設定が固定化されやすいが、内容は変化している。 | |
| | ⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ○ | | | 休日等、利用時間が長い時にしかできない、個別の関わりは実施するが、きめ細やかに設定しているとは言い難い。 | その時期の気候や利用者の体調に配慮しながら休みの期間の活動を設定できるようにしていく |
| | ⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス支援計画を作成しているか | ○ | | | | |
| | ⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | | |
| | ⑯ 支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか | ○ | | | | |
| | ⑰ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証、改善に繋げているか | ○ | | | | |
| | ⑱ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | | |
| ⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか | ○ | | | | | |
| ⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | | | |

| | | | | | | | |
|--------------|---|--|---|--|---|--|--------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | ○ | | | 学校送迎時に担任との情報共有を密にするよう心掛けている。 | |
| | ㉑ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか | ○ | | | 保護者を介して連絡を取っている。 | |
| | ㉒ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | ○ | | | | |
| | ㉓ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | ○ | | | | |
| | ㉔ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | | | |
| | ㉕ | 放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか | | | ○ | コロナ禍もあり実施していない 現段階は難しいが、ゆくゆく夏祭りやクリスマス会など交流ができれば良いと思う。 | |
| | ㉖ | (地域自立支援)協議会へ積極的に参加しているか | ○ | | | | |
| | ㉗ | 日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達状況や課題について共通理解をもっているか | ○ | | | 密に情報共有できるよう心掛けている | |
| 保護者への説明責任等 | ㉘ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか | | | ○ | | 今後、必要に応じて導入を検討していく |
| | ㉙ | 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | | |
| | ㉚ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | | |
| | ㉛ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | ○ | | | | |
| | ㉜ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもの保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | | |
| | ㉝ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | | | |
| | ㉞ | 個人情報の取り扱いに十分注意しているか | ○ | | | | |
| | ㉟ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | | |
| | ㊱ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | | ○ | 実施していない | |
| | ㊲ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や保護者に対して周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | ○ | | | 訓練までできていないものもある。 | 定期的に行えるように計画していく |

| | | | | | | | |
|--------|----|---|---|--|--|----------------|--|
| 非常時の対応 | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | | |
| | ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど適切な対応をしているか | ○ | | | | |
| | ④⑪ | どのような場合にやむをえず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ | | | | |
| | ④⑫ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | | 保護者を介して情報を得ている | |
| | ④⑬ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | | | |